

会 議 録

会議名	平成25年度第1回山陽小野田市文化財審議会
開催日時	平成26年1月17日(金) 午後1時30分から16時30分
開催場所	教育委員会会議室
出席者	上田蕃穂、河野豊彦、嶋田紀和、瀬口哲義、徳重壽美雄、原田直宏 松永保美
欠席者	なし
事務局	江澤正思(教育長)・今本史郎(教育部長)・和西禎行(社会教育課長兼文化振興係長)・河口隆裕(社会教育課長補佐)・佐貫政彰・石原さやか 溝口純一
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会のことば 2 辞令交付 3 教育長あいさつ 4 委員・事務局紹介 5 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長・副会長の選出について (2) ふるさと文化遺産について (3) ハマセンダンについて (4) 山下記念館について (5) 万人塚古墳について 6 報 告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 勘場屋敷について (2) 徳利窯について (3) 旦の登り窯について 7 その他
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 5 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長・副会長の選出について 会長 徳重壽美雄委員 副会長 松永保美委員 (2) ふるさと文化遺産について 「ふるさと文化遺産」登録制度を創設することについて説明した。賛成との意見だったが、これをどう発信し活用していくか、効果をあげていくかがこれからの課題であるとの意見も出された。 (3) ハマセンダンについて 保存に向けた環境整備の現状報告と同時に、説明板の文面について検討した。雌雄についてこれまでの認識と異なる意見が出たので確認することになった。また、道案内の標識を先に設置すべきとの意見も出された

ので、予算の範囲内で検討する。

(4) 山下記念館について

山下記念館の今後の扱いについて委員の考えを聞いた。保存あるいは取り壊しを判断する前に、中にある資料を整理して、その上で建物の保存について、改めて検討する。

(5) 万人塚古墳について

古墳の測量調査をすることについて委員の考えを聞いた。測量調査をするのは良いが、人の墓なのでむやみに掘り返すべきではないとの意見が出された。

6 報告

(1) 勘場屋敷について

現状を報告した。山陽小野田市の歴史の中で重要な建物なので保存すべき、保存に向けて待ったなしの状況であるとの意見が出される一方、地元で保存、活用しようという機運がないと保存が難しいとの意見も出された。

(2) 徳利窯について

27年度以降3年間で、県と市が補助金を出して、煉瓦の補修をする予定であることを報告した。小野田の町を作った笠井家一族について、その功績を見直す必要があるとの意見が出された。

(3) 旦の登り窯について

新たに窯の補修について見積もりを作成してもらったこと等、現状を報告した。